

事業評価書

補助事業名	王城寺原演習場関連公共用施設(教育文化施設:下黒沢集会所建築工事)整備事業						
補助事業者名	色麻町長 早坂利悦						
実施場所	加美郡色麻町黒沢字新神明80番地 地内						
補助事業の成果の目標	当町では、住民が集会・休養・学習などを行うために共同で利用できるとともに、農業などの従事者といった生産組織の健全な育成を図る施設として各地域に集会所を設置している。そして、災害等発生時の指定避難所としての役割も果たしている。 本集会所は古い耐震基準で昭和51年度に建築したため、大地震で倒壊する可能性が高く、当該地区の指定避難所として大変危険な状態であり、現状のままでは利用者の安全を確保することが困難である。そして、本集会所は高齢者や障がい者の利用が多いものの、玄関、トイレ、台所に段差があることから、施設のバリアフリー化をし、利便性を向上させることが必要となってきた。 そのため、施設を新築・バリアフリー化することにより、利用者の安全を確保するとともに利便性の向上を図り、地域の拠点として生産の健全な育成を図り、地域住民の生活環境の向上に寄与するものである。						
補助事業の内容	木造平屋建 A=163.13㎡						
補助事業の始期及び終期	令和5年度						
事業費及び交付金額		5年度					計
	事業費	円 49,817,900	円	円	円	円	円 49,817,900
	交付金額	44,800,000					44,800,000
補助事業の成果及び評価並びに関係住民への周知の実施状況	【成果】 整備により、老朽化が解消でき、玄関スロープの設置やトイレ等のバリアフリー化により、利用者の安全の確保及び利便性の向上が図られた。 事業完了後に、本集会所を利用している住民20名を対象にアンケート調査を行った結果、バリアフリー化の利用者の安全の確保、施設全体の使い勝手の利便性については、「非常に満足」と「満足」の合計が約100%となった。加えて、「施設が新しいのできれいになった」等の意見が得られたことから、利用者の安全の確保及び利便性の向上が図られたと評価できる。 【周知の実施状況】 町のホームページや広報誌へ特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で整備したことを掲載するとともに、集会所には、同内容が分かるステッカーを貼り、地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	利用者の安全の確保及び利便性を考慮しながら適切な維持管理を行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						